

「剣道部 50 周年を祝う会」の報告

剣道部 OB 会 幹事 H1 電気卒 清野純秀

樽前会会員の皆様、先般開催されました「剣道部 50 周年を祝う会」の報告をさせていただきます。

「剣道部 50 周年を祝う会」は、昨年末の OB 会にて諸先輩より「来年で剣道部も 50 周年になるから記念の祝う会を開催しよう！」「記念誌も作ろう！」との声上がり、今年に入り、OB 会会長以下幹事長および幹事で計画を進めてきました。

令和の新しい時代の幕開けと同時に古き良き時代の思い出も思い出しながら 10 月 19 日（土）に札幌すみれホテルにて、初代顧問の田島先生、剣道部 OB 22 名、現役 5 年生 5 名の 28 名にて開催致しました。

OB 会の於本会長（S61 土木卒）の挨拶から始まり、初代顧問の田島先生の祝辞、剣道部発足時の大先輩である大原さん（S51 土木卒）より祝辞をいただき、大内さん（S49 機械卒）の乾杯の発声により、楽しい宴が始まりました。

（ここまで、かなりの時間を要しました(;^ω^))



記念誌を作成しましたので、会場で角谷幹事長（S63 土木卒）よりご披露！
その後は、参加者全員が近況を報告。



会の盛り上がりも最高となってきたところで、OB 会より現役の剣道部へ記念品の贈呈。
OB 会のサプライズで、現顧問の栗山先生（S52 土木卒）の退官記念品の贈呈。



最後は、松本さん（S50 電気卒）のご発声で万歳三唱を行い、祝う会は終了しました！



祝う会の開会前に別室で集合写真をパシャリしましたので！



剣道部 OB 会は、毎年年末に忘年会（札幌すすきの）を実施しております。
今後も継続していきますので、本記事を見た OB の方々で参加希望があれば、幹事へご連絡ください。

大歓迎です！

最後に「剣道部 50 周年を祝う会」でご披露しました「記念誌」をご紹介します。

苫小牧高専剣道部50周年

記念誌



苫小牧高専剣道部OB会

目次

- ・記念誌発刊の挨拶 1
 会長 於本 嘉
- ・祝辞 2~4
 初代顧問 田島 勲 先生
 顧問 清水 祐一 先生
 顧問 栗山 昌樹 先生
- ・回想と近況報告（順不同） 5~8
 石川 孝二 様
 喜多 博志 様
 大原 治 様
 本田 栄悟 様
 久保いずみ 様
 藤川 聡司 様
- ・剣道部の足跡（手拭） 9
- ・剣道部の足跡（写真） 10~13
- ・剣道部成績一覧 14
- ・編集後記 15

記念誌発刊の挨拶



「50周年記念誌」発刊にあたって

1986年(昭和61年)卒業

剣道部OB会長 於本 嘉

このたび、「苫小牧高専剣道部創立50周年を祝う会」の一環として、創部から現在までの足跡を記録としてとどめるための資料収集、編集をおこない、ここに「苫小牧高専剣道部50周年記念誌」を発刊することとなりました。

発刊にあたっては、苫小牧高専剣道部の初代顧問である田島先生や剣道部OBであり剣道部顧問としてもご活躍される栗山先生から、過去の高専大会結果やパンフレット、写真などの貴重な資料を提供していただきました。また、名簿作成には多くの剣道部OBのご協力を頂き、これまで以上に充実した名簿を作成することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、ここで知る人ぞ知る、知らない人全知らない「苫小牧高専剣道部OB会」の経緯についてご説明したいと思います。OB会の発祥は平成18年11月に開催された「苫小牧高専剣道部顧問 田島勲先生の顧問退任の感謝会」だと記憶しています。

その後、発起人を務めた石川孝二さん(549卒)が初代OB会会長、山本正人さん(550卒)、栗山昌樹さん(552卒)が初代OB会幹事となり、毎年12月に札幌のジャスマックプラザホテルで忘年会を開催するようになりました。

平成25年には石川会長の下、山本幹事の手下として勤めていた本島(561卒)と本田栄悟くん(92卒)が2代目幹事に昇格、平成26年には角谷英一郎くん(563卒)が就任し、平成27年には海外に転居となった本田栄悟くん(92卒)に代わり、清野純秀くん(91卒)が引き継がれました。

現在の幹事会の体制になったのは、平成30年からで、平成29年12月の忘年会で石川会長が引退を表明、同時に2代目会長として私が指名されたのを機に、幹事会の若返り化を図るため、加藤大地くん(927卒)を迎えて現在の体制となりました。そして、昨年の忘年会において「苫小牧高専剣道部創立50周年を祝う会」の企画と「50周年記念誌」の製作という大役を任せられることになりました。

私自身、高専剣道部時代は大会で貢献できるような部員ではありませんでしたが、卒業3年後にこのような形で剣道部の歴史に少しでも足跡を残すことができたのは、先輩や後輩たちに背中を押していただいたおかげだと感謝しております。

今回の「祝う会」、「50周年記念誌」の発刊により、これまで一部のOBが酒を飲み、親睦を深めるだけだった「OB会」からの脱却を図り、現役剣道部の活動支援、OB会名簿の充実、現役剣道部顧問や現役部員との親交、過去の記録整理など、現役剣道部を補助し、年代を超えた交流を図ることのできる、新しい「苫小牧高専剣道部OB会」としての第一歩を築くことができたと思っています。

しかし、今後益々の充実を図るためには皆様の積極的なOB会への参加や協賛が必要となるので、今後ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後になりますが、この「50周年記念誌」の編集にあたり、仕事やプライベートのかたわら編集にご協力いただいた幹事の方々、記事の執筆に御協力いただいたOBの皆様へ深く感謝の意を表し、発刊の挨拶とさせていただきます。

祝辞



剣道部創設50周年記念誌によせて

初代顧問 田島 勲

勤務して3年目1969年、543春に「道内高専体育大会の当番校だから、剣道の面倒を・・・経験者は目安あるから・・・」と体育教育に言われ、関わることになったのが、私の始まりです。学生の面倒を見るより、7月の地区大会準備が大変だったことを記憶している。事務方の剣道経験者がお手伝いしてくれました。以来長い時を家族と共に剣道部と一緒に過ごしました。機械工学科教員としての思い出より、私にとっては、思い出すことが多く、仕事の一部となりました。卒業生の皆さんには感謝の気持ちで一杯です。試合中のあのドキドキ感はい間、私に若さの刺激を与えてくれました。

私は函館生まれ、父が鉄道員で、小1から4年まで長万部、その頃は鉄道病院の常連で、高熱が続いていました。小5から安平町道場に移り、父が虚脱体質の私を、剣道の先生にお願いし、暑さ、寒さのなか、稽古の会館で練習させて頂きました。それ以降、病氣から離れることが出来たのです。剣道との縁はこれからです。1969年春から剣道部として始まり、現在に至っているのです。

悪い、怖ろしい、嫌な、先輩がいるのはどこも同じで、送り合いです（と私は思っていました）。大卒の様子も、自宅の家族に伝え、どんな結果でも喜び合ったものです。2008年道順、1年だけ再雇用利用し、その後は物質と環境都市工学科で機械工学科副授業の非常勤として2017年3月まで勤めました。今は早朝3時半に起きて、6時まで好きなこととして、その後自宅での練習の担当作り、お掃除、6

時に妻と台所交代する日々が続いています。井当作りは道順1年前から始めました。今はスキーシーズンに向けて毎日運動しています。「今シーズンでかな」と思っています。

続いております。皆さんも道順以降の人生を健康に過ごせるように、改めて子供相手に竹刀を持つのはどうでしょう。

私は現在、妻と娘の3人暮らしです。息子は茨城県ひたちなか市で家族4人暮らしをしています。孫は高2と中2でよく来寄っていました。ここ3年ほど妻が見えませんが、でも息子家族へは毎週葉書を届け、近況を伝えておきます。親は常に子供のことをいつも心配しているものです。7/17に私が、8/30に妻が、75歳になりました。娘も息子も剣道とは関係することなく大人になりました。ただ、妻がほんの一時だけ、近くの小学校体育館で行っていた剣道に参加したことがあります。道具一式揃えたのにちヶ月で寝病、思いがけない事件でした。

顧問として40年近く、剣道部に関わってきました。

だが、道順の帰郷りに触れ、エネルギーをもらったと私は今でも、つくづく思います。卒業生諸君は、老い？も若きも健康に気をつけて、長い人生を、これから先も楽しんでほしい。剣道の思い出を大切に下さい。

祝 辞



剣道部顧問を振り返って

剣道部顧問
創造工学科 応用化学・生物系 特任教授
清水 祐一

苫小牧高専剣道部50周年おめでとうございます。学校創設当初から半世紀に渡って伝統が守られていることをとても嬉しく思います。また剣道部08会には日頃から剣道部を支援して頂き、この場を借りてお礼申し上げます。

苫小牧高専に赴任して、どういわけか剣道部顧問を命じられ、それ以来25年が経過しました。当時の顧問団は、もう退職されている電気科村井先生、機械の田島先生そして現在も顧問の夢沼先生だったと記憶しています。剣道をやったこともたまたまなくルールも全く知らない新入生にとつたただただ先生の後ろをついて歩いていただけでした(今も大して変わりませんが)。特に最初の頃は田島先生の学生指導に圧倒され、私も自分もどきどきしていました。

剣道部の歴史の半分を顧問として関わってきたことになり、剣道の「刀」の字も知らぬ私にとってはただ名前だけの顧問だったような気がします。それでも毎年毎年いろいろな留学的な部員と接してきたので、彼らには教員という成長させてもらったのではないかと感謝しています。

高体連の試合などで地域内に激戦があるため、いい成績を残すことができなかったのですが、道内高専大会体育大会では素晴らしい成績を残しています。惜しくも今年で止まってしまうことが、昨年も続いた団体戦3連覇です。道内には数少ない、まさに苫小牧高専剣道部の黄金期です。おかげで私は全国大会の引率として愛媛、北九州、福井、香川、久留米など普段はなかなか行くことがない全国各地を訪ねることができ、この点でも学生に感謝しています。資料を調べ

ると、今年の第35回道内高専大会まで剣道部は54回実施されていますが、なんとそのうち半数の27回が苫小牧高専の優勝でした。

全国大会でもいろいろな思い出がありますが、平成19年と22年に引率した大会で第3位になったことや栗原保司君が平成20、21年と2年連続で男子個人優勝したことが強く残っています。当時は鶴巻高専と北九州高専の2強が続いた時期でしたが、その中で栗原君は断トツの強さを発揮しました。もう一つ全国大会で非常にパニックになった思い出があります。北九州の若松での大会を終えて帰る時、博多に向かうつり舟が小倉方面の電車で乗ってしまい、小倉から新幹線で博多まで戻り何とか飛行機に間に合ったという事件(?)です。新幹線の料金は学生分も含めて自費でしたが、飛行機に乗れなかったことを考えると今でもぞっとします。同時に、その時ほど新幹線に「感謝」したことはありません。

今年度まで本校での25年間の教員生活を振り返ります。剣道顧問以外にも様々な役割に付き、高専の変遷を見てきました。学生の気質はやはり変化し気配がしますが、本質はあまり変わっていないのかもしれない。剣道部の部員数はずっと20名前後で推移してきましたが最近では減少気味で、毎年入部する新入生の数が減るようになってきました。今年の道内高専体育大会では部員数が足りなくて団体戦に出場できない高専がありました。

最後になりましたが、一緒に汗を流した顧問の諸先生に感謝しつつ、これからも剣道部が新しい歴史をつくられることを祈っています。

祝 辞



剣道部 50 歳に寄せて

1977年(昭和52年3月)卒業

栗山 昌樹

剣道部創部50年おめでとうございます。また、剣道部同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。50年間にわたり剣道部を支えて頂いた田島先生を始めとする歴代顧問の皆様、そして多くのOBの皆様から厚く御礼申し上げます。

本校剣道部は、昭和11年、工業化学第4期生の石川先輩が中心となり同好会を立ち上げ、その年に苫小牧で開催された第4回地区大会への初参加以来、現在に至るまで多くのOBの皆様から厚く御礼申し上げます。本校剣道部は、昭和11年、工業化学第4期生の石川先輩が中心となり同好会を立ち上げ、その年に苫小牧で開催された第4回地区大会への初参加以来、現在に至るまで多くのOBの皆様から厚く御礼申し上げます。本校剣道部は、昭和11年、工業化学第4期生の石川先輩が中心となり同好会を立ち上げ、その年に苫小牧で開催された第4回地区大会への初参加以来、現在に至るまで多くのOBの皆様から厚く御礼申し上げます。

区大会で優勝できず全国大会に田島先生を一度も連れていけないことが心残りでしたが、多くの仲間と連れ添って来たのは幸運だと感じています。その後、苫小牧市役所に就職し、土曜日の午後練習や学生の会合時の稽古に参加するなど剣道部に関わっていましたが、社会の過剰な日移りなどのため、剣道部とは次第に縁が遠くなっていった状況でした。当時の後輩たちの多くが、社会の中でおおいに活躍してくれていることを大変嬉しく思っています。

2008年に縁あって苫小牧高専の教員に転職しました。以来、顧問となり2年になります。2019年度でいよいよ定年となりますが、学生たちには今後とも気力、体力、知力を剣道を通じて身に付け、有為な人材として活躍することを願っております。

わが剣道部の手紙は、現在は小豆色の地に白抜きで「心気力」と題されたものです。これは、学生時代(昭和50年頃)、短い期間ではありましたが、剣道部の指導をお願いした故郷松浦二部先生に譲って頂いたものです。剣道部の学生たちには、いつまでも剣道のスピリッツを忘れないよう大切にもらいたいものです。以前、公共の体育館でこの手紙を使用していた卒業生が、同じ会場で稽古していた人に「苫小牧高専か?」と聞かれ、「そうです」と答えると「後の後輩だな!」と言われたそうです。剣道部の手紙は、同窓生の絆となるアイテムです。

とりとめの無い話となりましたが、剣道部の益々の発展と卒業生のご活躍を祈念し、祝詞に代えさせていただきます。 合掌

回想と近況報告

1974年(昭和49年)卒業
工業化学科 石川 孝二



苫小牧高専剣道部創設50周年おめでとうございます! 苫小牧高専剣道部は昭和43年に同好会として発足し、その年苫小牧で初の道内高専大会が開催され剣道部の参加も認められたのが第一歩でした。設立は学生会・寮生会・教職員の方々の御助力で成し遂げられたものと、深く感謝しております。特に顧問の田島先生、体育教授の渡部肇先生、教職員の高橋(当時図書室)氏、上野(学生課)氏、角田氏、三上氏、上原氏をはじめとする諸先輩方には大変お世話になりました。翌44年、正式に部としての活動が学校より認められ、50年間もの長きに渡り活躍している剣道部は、私としても非常に嬉しく、誇らしく、感慨深いものがあります。剣道部OBとして20代半ばに何度か来苫の折に学校へ訪問していましたが、10年前(田島先生の退官記念の折)に栗山さん達の協力を得てOB会を発足し現在に至っております。苫小牧高専初代の剣道部部長とOB会会長をさせていただき最高でした!! これからの苫小牧高専剣道部の益々の隆盛と、剣道部OBの皆様の益々の健康と御活躍を祈念致します。

<<現在仕事は現役で頑張っており、竹刀をゴルフクラブに持ち替えて素振りしております!>>

回想と近況報告

1981年(昭和56年)卒業
土木工学科 喜多 博志



剣道部創立50周年をおめでとうございます。坊主頭で出陣の大雪山の麓を出発し、チッキ(死語?)で布団とともに剣道員を持って入寮してから、38年も経っていることに改めて驚きを感じます。剣道部の思い出は、同期で「虎の穴」と呼んでいたウエイトトレーニングでの同期の苦悶の声、ランニング後に校舎前で壁上の応援団練習に向かって声出して当時の山崎部長に怒られたこと、合宿所で壁の向こうから聞こえる柔道部の1年生の悲鳴、運よく奈良での全国大会に行けた時に落雷で電車が途中で止まりかなりの距離を徒歩で歩いたことと着替え中に目撃したムカデの巨大さと色彩に驚愕したこと、部活で楽しくソフトボール中に全校放送で呼び出され、知らざっていた就職試験で急遽面接に向かったこと等々、主に剣道以外のこととお世話になった先生・先輩・後輩の顔が浮かびます。現在60歳を目前にしてありますが、札幌市のスポーツ指導員として地元の体育館で少年剣道指導をしながら、息子二人に譲り抜かれたいよう「60歳までに数士7段」を目標に稽古を続けています。時折ながら後輩の皆さんが全国大会で活躍しているの知らずとも聞いております。これからの益々の活躍と剣道部の隆盛をご祈念いたします。

回想と近況報告

1976年(昭和51年)卒業
土木工学科 大原 治



私は、昭和46年(1971)4月に東北北閉市の田舎から、土木工学を目指し、田舎から小牧かを志願した方々の苫小牧を選び、運よく入学することができました。当時、学校前の道も砂利道で周辺は年輩だけのこんな田舎かとびっくりしました。剣道との出会いは小学3年生ごろから初めて(田舎では剣道しなかったのですが)、高専に入ったら初めてと思って、滑ったことのないアイススケート部に入学しました。そこでは、陸上部員向けのトレーニングに驚かされ毎日たくたくたになっていました。

そして、冬につづくにつれて、履きなれないスケートに不安を感じ、剣道部の門をくぐった訳です。それから、5年間田島先生、吉田先生にお世話になり剣道部生活を送ってきました。特に、2年生の時に昇段試験(2段)に何度も失敗し、田島先生に世話になったことを記憶しています。また、高専大会では5年間で一度も優勝できなかったと思います。当時は顧問が圧倒的に強く歯が立たなかった時代でした。



【栗山先生が見つめてくれた写真】

【H23.12.17 08会 於：ジャズマックプラザホテル】

近況報告(リバ剣)

1990年(平成2年)卒業
工業化学科 本田 栄悟



皆様お元気でしょうか？当時の思い出となると、このご時世書けないことが多いので、近況報告をしたいと思います。

卒業後、本州に就職すると剣道から離れてしまったのですが、北海道に展ってきて10年ほど過ぎ、40歳を越えたころリバ剣しました。在学中は決して真面目に稽古していたわけでもなく、試合で勝った覚えもなかったのですが、何か運動しなければと思ったときに、防具がそろっていた剣道を再開しようと思いつきました。

札幌では家の近くの「平和剣友会」にお世話になり稽古をしています。アキレス腱断裂も経験しました。娘二人も一年遅れで始めてくれました。彼女らは今でも続けてくれています。

そんな中、オーストラリアのシドニーへの赴任が言い渡されてしまいました。赴任先の家探しと同時に道場探しをして「鈴心館」の門をたたきました。ここは舞鶴出身の方が館長をしていて比較的日本人が多い道場でした。私と同じ駐在員や永住者、オージーたちと一緒に稽古し、英語の苦手な私のよコミュニケーションの場でした。写真はシドニーで娘たちと同じ大会に出た時のものです。帰国前には四段をいただきました。

帰国後は東京本社勤務となったため、半年前に進学のために寮住まいしていた娘と同じ千葉県船橋市に住みました。娘では家の近くの「柏三剣」にお世話になっています。この柏市は剣道で強んで、市民大会もあり、いい年こいて昔は個人戦50代の部に出場し一回戦突破。この秋には団体戦で8チームの先鋒で出場予定です。08の皆様も現役の皆様も剣道は生涯スポーツです。いつでもリバ剣できます。一緒に稽古しましょう。

回想と近況報告

2005年(平成17年)卒業
機械工学科 久保 いずみ



宮小牧高専剣道部創立50周年にあたり、心からお祝い申し上げます。

私が剣道部に入ったのは2000年、高専に入学出来たこと初めてPNSを手に入れた喜びに浮かれ、中学から始めた剣道をこどもやってみようじゃないかと思いつき、個性豊かな先輩方と、控えめな同期たちとの楽しい部活ライフが始まりました。個人的にはあまり真面目に練習に参加した記憶はないのですが、それでも練習終わりに敷地内の自販機で買って飲んだキンメツ缶は、いまでも飲むたびに縁の下のタカラの思い出を思い出させてくれます。また、北海道は女子の競技人口が少なかったため、全道高専大会は1勝で2位(?)、全国大会出場という貴重な経験も出来ました。旭川高専の女子の先輩とは、今でも緩やかな交流が続いています。全国高専大会には、選手やマネージャーの名目でほぼ毎年連れて行ってもらえたことは思い出し出です。

今は北海道の菓を扱う会社で働いており、とてもラッキーなことに他部署ではありますが剣道部の優しい先輩がいるので、とても心強く感じています。

毎年年末に部で忘年会を行っていることは、他のところでは考えられないのではないのでしょうか。参加するたびに、剣道をやってきた日々が大好きな方たちが集まっているんだと感じます。長く金を存続させるだけのパワーや、絆を大切にされてきた歴代先輩方に敬意を表し、寄稿とさせていただきます。

回想と近況報告

2015年(平成27年)卒業
環境都市工学科 藤川 聡司



この度は、宮小牧高専剣道部の創立50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。私が宮小牧高専剣道部に入部したのは平成22年から、27年の5年間はとなります。当時の剣道部は、火水木が稽古、月金が体力トレーニングといった内容で部活動を行っており、1学年上の先輩方がとても元気だったからなのか、掛かり稽古と体力トレーニングの量が多かつたことが記憶にあります。体力トレーニングではよく神前錦岡を走り海岸まで行き、砂浜ダッシュを何本もやりました。その後走って学校まで戻り、筋トレを行っていたので違う部活に入部したのかと錯覚するほどでした。また、稽古や体力トレーニングの量はその日の先輩の気分次第のため、ペース配分に苦労しましたがその分、体力的にも精神的にも鍛えられたと思います。その先輩方のおかげもあり、全道高専大会は毎年団体優勝し、私が卒業する頃には9連覇を達成し素晴らしい結果を残せたと思います。全国高専大会では中々結果は残せませんでした。先輩や後輩たちと全国各地を回れたことは、とても貴重な経験でした。

高専卒業後は長岡技術大に編入し学部卒業、退職員として北海道に戻り、現在は滝川市に配属されて3年目となります。社会人になってからは剣道からも遠ざかり、違うスポーツを始めましたが、また高専時代の剣道仲間と稽古できる日が来ればと思っています。

最後になりますが、宮小牧高専剣道部が、50年の輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、新しい時代に向けて、さらなる飛躍を遂げられますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉をさせていただきます。

剣道部の足跡(手拭)



初代 手拭 (昭和50年頃製作)

二代目 手拭

三代目 手拭

四代目 手拭 (～現在使用中)

剣道部の足跡(写真編)



1973 (昭和48)年1月
48E 山本眞晴さん卒業記念

1975 (昭和50)年
夏期合宿

栗山	錦村	甲中	市川
高石	大原		

1979 (昭和54)年
高専大会 優勝 (旭川大会)

剣道部の足跡（写真編）



1983（昭和58）年
高専大会 優勝（旭川大会）
この年から6連覇

1987（昭和62）年
夏期合宿



1987（昭和62）年
苫小牧高専剣道部二十周年祝賀会
（於 ウトナイレイクホテル）

剣道部の足跡（写真編）



2007（平成19）年
高専大会 優勝（2連覇）

2012（平成24）年
高専大会 優勝（7連覇）



2015（平成27）年
高専大会 優勝（10連覇）

剣道部の足跡（写真編）



2016（平成28）年
高専大会 優勝（11連覇）

2017（平成29）年
剣道部OB会 忘年会



2019（令和1）年
50周年を祝う会

高専大会成績一覧

年度	回	団体戦	成績		全国大会 成績
			男子個人戦	女子個人戦	
43	4	3位	1位:石川, 4位:三上		
44	5	1位	1位:石川		
45	6	2位	2位:山本, 4位:石川		
46	7	4位			
47	8	2位			
48	9	3位	4位:大内, 6位:佐藤		
49	10	3位			
50	11	4位			
51	12	4位			
52	13	3位	1位:佐藤寿, 5位:石山		
53	14	2位			
54	15	1位	4位:佐藤剛		
55	16	2位	1位:倉本, 3位:喜多		
56	17	2位			
57	18	3位	1位:倉本		倉本:3位
58	19	1位	1位:倉本		
59	20	1位	1位:佐藤秀		
60	21	1位	1位:佐藤秀, 3位:渡辺		
61	22	1位	1位:佐藤秀, 2位:木田, 3位:渡辺		
62	23	1位	1位:佐藤秀, 2位:木田, 4位:藤川		
63	24	1位	1位:木田, 2位:渡藤, 3位:吉野		
H1	25	3位	1位:木田, 3位:吉野, 4位:藤川		
2	26	2位	2位:吉野	2位:横内	
3	27	3位		2位:坪野, 4位:横内	
4	28	1位	1位:小瀧, 3位:池之上勇	1位:坪野	
5	29	2位	1位:池之上康, 2位:池之上勇, 4位:小瀧	3位:坪野	
6	30	2位	1位:藤田, 2位:小瀧, 3位:池之上	1位:坪野	
7	31	2位	1位:藤田, 2位:坂本	1位:坪野	
8	32	2位			
9	33	1位	1位:佐藤正, 2位:坂本, 3位:池之上勇, 4位:小枝		
10	34	1位	1位:田中, 2位:小枝裕, 4位:長船		
11	35	1位	1位:田中		
12	36	1位	1位:小枝	2位:久保	
13	37	1位	2位:田中, 3位:小林	1位:米上, 4位:久保	
14	38	4位		1位:米上, 2位:浅井	
15	39	1位	2位:小林, 3位:野島	3位:久保	
16	40	1位	2位:近藤, 3位:小林	2位:久保	
17	41	2位	1位:野島, 2位:近藤	3位:藤村	
18	42	1位	2位:近藤, 3位:村田		
19	43	1位	1位:近藤		団体:3位
20	44	1位	1位:菅嶋, 2位:栗原, 3位:白井		栗原:1位
21	45	1位	1位:菅嶋, 2位:栗原		栗原:1位
22	46	1位	1位:高橋, 2位:山田	2位:西村, 3位:岡藤	団体:3位
23	47	1位	1位:高橋, 2位:藤川聡		
24	48	1位	1位:高橋, 2位:田仁		
25	49	1位	1位:高橋, 2位:藤川聡	2位:西村	
26	50	1位	3位:高松	3位:田辺	
27	51	1位	3位:田仁		
28	52	1位	3位:小倉		
29	53	1位	3位:小倉, 4位:高松	1位:大西	
30	54	1位	1位:高松, 2位:及川	3位:大西	
R1	55	2位	3位:田中, 4位:矢野		

編集後記



創道部創立50周年を記念して発行した「記念誌」をご買いただいた感想は、いかがだったでしょうか？

思えば、昨年12月に開催した創道部OB会有志による忘年会の席上で、随先輩より「創立50周年を迎えるので、記念式典をやらう！」「創道部OBの名簿を作らう！」とお言葉をいただき、これは大変なことになったというのが私の最初の思いでした。

その後、於本会長および清野・加藤両幹事と協力しながら、少しずつ発行作業を進めてきました。作業中に昔の懐かしい写真や資料を見ては、脳裏に眠っていた当時の記憶が鮮やかによみがえり、「5年間とはいえ、濃密で有意義な青春時代を過ごしていたのだな！」ということにつくづく感じ入った次第です。記念誌をご買いただき、私が抱いた気持ちに共感いただける方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

創道部OB会は、随先輩の長年の牽引により、定期的に忘年会を開催する等、団結力のある誇りある集まりです。今後もOB各位に励まれる活動を継続して推し進め、更にはこの「創道部スピリッツ！」を後輩に繋げていけるよう、会長・幹事共々敬意努めてまいります。

最後に、本記念誌の作成にあたり、何かとご多用の中ご寄稿いただいた各位、また名簿作成のために情報提供等へご協力をいただいた各位に対しまして、深く感謝申し上げます。

いつの日かまた記念誌第2号が発刊されることを祈念して、編集後記といたします。

1988年(昭和63年)卒業 土木工学科 角谷 英一郎 (OB会幹事長)

■OB会役員一覧

会 長	： 於 本 高	1986年 (S61年) 土木卒
幹事長	： 角谷英一郎	1988年 (S63年) 土木卒
幹 事	： 清野 純秀	1989年 (H1年) 電気卒
幹 事	： 加藤 大地	2016年 (H28年) 環境卒

※誤字・脱字、居住地等の追加・訂正等がありましたら、幹事までご一報願います。